

●山城総合運動公園

前回検証結果	継 続 ・利用者の満足度の向上のため、指定管理者による自主事業の拡大や民間活力の導入を更に促進するとともに、施設の再整備等の財源確保を図れるよう、指定管理期間の長期化等による仕組みづくりを検討すること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	○民間活力を導入した新たな取組 園内の自然林エリアを活用して、民間事業者が体験等施設を整備し、営業を開始。 ・「ジップラインアドベンチャー」（R3年4月） ・「ふるさとの森キャンプ場」（R3年7月） ・「アウトドアリビング飲食サイト」（R3年7月） ・「50mプール水上アスレチック」（R4年7 - 8月） ・「展望広場キャンプ場」（R5年4月） ・「ジップラインと森散歩」（R5年8月） ・「プールサイドテントサウナ及び遊び体験」（R5年4月） ○自主事業の拡大 ・令和4年度から府内の中高生を対象にチームビルディングを目的とした校外学習を提供 ・令和4年12月からインクルーシブ遊具の利活用や障害を持つ子どもたちの来園機会の増大のため、「誰もが楽しめるパークシネマ（屋外上映会）」などを開催 ・令和7年4月に府内の吹奏楽活動に励む中高生の発表の場を提供するため、「サンサンオープンエアフェスティバル2025」を開催
なお残る課題・問題点	◆公園施設全体の老朽化が進行し、今後維持修繕費や基幹施設の改築更新費は増加の見込み。 ◆大規模施設の老朽化及び陳腐化が進み、魅力ある空間利用が不十分で、利用者サービスが低下。
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□幅広い年齢層が楽しめる良質なサービスが提供されており、府南部の府民にとって必要な施設である。 □民間事業者のノウハウを取り入れ、魅力ある施設づくりができており、指定管理期間を10年にした効果が出ている。 □施設の老朽化やインフラ施設の維持管理や改修に要する経費について、計画的な対応策を講じる必要がある。 □民間活力を利用しながら、更なるコンテンツの充実に期待。

京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎指定期間10年の前半の成果を踏まえ、更なる施設の利活用を図ること。 <今後の対応> ○指定期間10年の前半に充実させた各種体験型コンテンツ提供施設及び機能を強化したスポーツ施設について、自主事業と併せて更にその利活用の促進を図る。
-----------------------	--